令和８年度　第１回地下水保全連絡協議会　会議録

１　日　時：令和８年５月２５日（月）１４：００～１５：１０
２　場　所：座間市役所５階　５－８会議室
３　出席者：委　員　西海会長、山内副会長、飯島委員、坪田委員、西委員、加賀原委員、小玉委員、鶴間委員
　　事務局　くらし安全部長、生活安全課長、環境保全係長、係員
４　公開の可否　☑公開□　一部公開　□非公開
５　議　題
⑴　令和８年度　座間市地下水総合調査業務委託について
⑵　令和８年度　有機フッ素化合物分析の調査地点等について
⑶　その他
６　配布資料　資料１～３

７　議　事
⑴　令和８年度　座間市地下水総合調査業務委託について
ア　事務局説明
事務局　昨年度行った座間市地下水保全基本計画を改訂した。計画に基づき、地下水総合調査を予定しており、現在業者を入札により選定すべく手続きを進めている。内容については大きく２つで、GETFLOWSを使用しての渇水シナリオシミュレーションと簡易な湧水量調査を実施する予定である。

イ　質疑応事務局
西海　今回の総合調査は、どこの業者でも実施できるものですか。金額等は決定していますか。
事務局　シミュレーションを設計・実施する能力は必要ですが、特定の会社しか実施できないわけではありません。そのため、入札という形で業者を選定します。金額は、入札が終わって受注する会社が決定する段階で決まり、６月に分かる予定です。
山内　現状、どうなっていますか。実際には一社に限られていたりするのですか。
事務局　入札状況は開札まで知らされませんが、入札の手続きに必要な見積もりについては二社から頂けています。一社に限られていないために入札という方法を採用しています。
山内　シミュレーションに使用するシステムはちゃんと公開されていますか。どのような特色がありますか。
事務局　大学で開発された技術が基になっているモデルだと聞いています。特色としては、三次元水循環解析システムという名前があるが、水の流れを地下水や河川、雨を一体として解析できるのが強みです。
山内　そうすると、かなり精密なシミュレーションができるということです

か。また、資料の水収支のところには蒸発などの数値がありますが、これらは測定で得ているのか、計算で得ているのか、シミュレーションで出しているのか、はいかがでしょうか。

事務局　理論的には、精緻な設計もできるモデルではあります。ただし、座間ですと例えば帯水層が何層あるかを知るための情報が不足しているなど、得られるデータの内容に限度がありますので、精度も限度はあります。
数値の出し方ですが、御指摘通り計算で出すところ、測定した数値を使うところ、シミュレーションで想定するところなどあります。どこをどうしてシミュレーションのモデルを構築するかという設計も、腕の見せ所と言えます。
数値が推測になる箇所もありますので、当然現実の値とズレが生じる可能性はあります。ただし、シミュレーションした結果矛盾が生じないか、などの検証はしております。

山内　契約期間は令和９年３月ということですが、結論が出るのは３月ですか。

事務局　３月の契約期間満了までには結論が出て納品もされます。ただ、それより早く結論が出て終わることも十分あります。

坪田　蒸発量ですが、降水量全体の何パーセントという割合で見るほかないと思います。ただ、それはより気温が高ければ、より蒸発量は多くなりませんか。

事務局　もちろんそういった変動はあります。

⑵　周知・啓発活動への物品購入について

ア　事務局説明

事務局　９月２６日に開催予定の座間市湧水ツアーで使用する試薬を購入するため、地下水保全対策基金から支出したいと考えています。試薬代は各5,060円で、基金からの支出は1万円を上限とし、実施後に会計報告を行う予定です。

イ　質疑応事務局

坪田　今回、湧水ツアーで行う実験の試薬購入費を基金から出したいとのことですが、これまで何度も湧水ツアーは実施してきたと思います。その際の費用はどうしていたのですか。

事務局　確かに、以前にも試薬を使用して実験を行ったことがあります。
その際は、市がたまたま保持していた試薬で期限切れとなったものを利用しました。
こういった実験は参加者のこどもたちが喜ぶということがありまして、

できればイベント用途に合った分かりやすい効果の出る試薬を購入したい、と思っている次第です。

坪田　　今回は使い道の打診であるが、基金の使い道、残額等についても報告を定期的にしてほしい。

事務局　　承りました。基金の使い道、つまり基金による地下水保全施策を実施するにあたって協議させていただくので、その際にそうしたものもお示しできます。今回は、これまで実績のなかった種類のものに初めて支出するため、その部分を報告させていただいています。
残額についてですが、現在は2,262,696円です。また、協力金を昨年度実績で申し上げると、1,537,000円でした。

西　　今回の一万円の支出で適切な試薬を買うのは良いと思います。前回湧水ツアーに参加しましたが、その際はお酢を使いましたよね。あれよりは、今回の提案である、もっとミネラル分が少ない他所の水を使ってみるなどの工夫は面白いと思います。

山内　　参加者にこどもは多いのですか。

事務局　　前回のツアーではLINEで申し込みを行いましたが、こどもを含む申込みよりも高齢の方が多かったです。ただ、その際にこどもの反応は良かったです。

山内　　今回購入する試薬は50回分ありますが、もっと回数を少なくするなどする方法は検討しましたか。

事務局　　はい、他にも、もっと網羅的にいろいろな項目を検査できるキットも販売しておりまして、そちらを購入すれば１成分に対する試薬の数は少なくなります。ただ、見栄えという点と、取り回しという点で、項目数を増やすよりは、項目を絞って回数を多くして、多くのこどもに触れていただいたほうが良いかなと考えました。

西　　前回参加させていただいた時の感想ですが、項目は二項目ぐらいで良いと思います。特に特殊な水というわけではないですし。資料も楽しかったです。

事務局　　補足として概要をお話しすると、座学と現地を見るという形で実施しまして、座学のところで実験を行いました。

坪田　　参加が殺到するということも考えられますか。

事務局　　前回、108人ご応募いただいて、当選したのが32人です。できるだけ多くの方にご参加いただけるように当選人数もできるだけ増やしたのですが、安全を考えると限度がありました。今回、まだこうできると決まっ

た訳ではありませんが、できるだけ多くの方にご参加いただけるようにしたいです。

坪田　　提案ですが、夏休みの自由研究の課題にしても良いのではないでしょうか。８月１日は水の日ですし、例えば図書館で座学をした後、谷戸山公園の湧水を見に行くなど方法はあると思います。こどもへの啓発は大事なので。

事務局　　提案ありがとうございます。私共もこどもへの啓発が大事だと思っていますので、こういうご報告が増やせればよいなと考えております。今後もご提案等ありましたらお寄せください。

山内　　例えばシルバー人材センターを活用するなど、職員の手がかからない方法ができれば、もっと回数が増やせるかと思いますが、そうしたことは可能ですか。

事務局　　これは組織として検討したことではございませんが、確かに、他市ですと例えば観光にボランティアガイドを活用するなどの仕組みを回しているところがあります。ただ、そのためには、例えば市民講座で講師を育成し、そこからガイドを養成し、その方々に参加いただいて、という段階を経ております。座間市の現状ですと、まず講師の養成からと一担当としては感じております。

西海　　確認ですが、今回は基金の使い道ということでよろしいですか。

事務局　　はい、今回は、前回打診させていただいた啓発のための費用の使い道についてですが、企業の方々にいただく協力金で基金は成り立っており、このほかにも各種調査ですとかに用いております。それについては別途協議いただきますが、今回はこの啓発のための費用の使い道についてです。

西海　　企業委員の皆様からご意見はございますか。

加賀原　　地下水保全のための基金と承知していますので、今回のような啓発のための支出は適切だと考えています。

小玉　　わが社も、地下水の保全は重要と考えており、市の検査に協力もしております。ツアーの試薬を購入するというのは適切な使い道だと考えています。

山内　　試薬の購入、良いのではないでしょうか。